

節目は大事です

校長 武井 正明

先週金曜日の第2回真和会総会と引継ぎ式。

皆さん、どう思いましたか？

私は、昨年もしっかりしていたけれど、今年も弁えをもった吉中生だなあという思いで、君たちを見ていました。



今年も、おそらくいたとは思うのです。特に1年生の成長段階の人たちには。

なんでこんな寒いのに、わざわざ体育館に出て、こんなことやらなければならないんだ？って思う人。そう思うあなたは悪くない。

君たちが社会に出ると、実はこういう節目の会や式典が、山ほどあるのです。それを「めんどくさい」と言って参加しないのは「子どものやること」と言われるのです。大人は黙って参加するのです。それが民主主義、日本社会ってやつです。

それくらい日本では、物事の節目を大切にします。

全国どこの学校でも行っている生徒総会。先輩から後輩へのバトンを引き継ぐ、大事な節目。大切なのは、まずは吉中生のひとりとして「整然と参加する」こと。人の迷惑にならないこと。そこには我慢も伴います。大人になるというのは、我慢することなのです。

そこが皆さん、しっかりできていました。

そして、会を運営、進行、発言する人たち。

彼らの任務は、周到な準備を固めて、当日円滑に会を進行すること。マイクを通して、明瞭な発声をすることです。彼らは念入りにリハーサルを重ねて、本番を迎えました。

これも議長や司会、役員の人たち、質問者の人たちが、臨機応変に務めていました。おかげで予定時間より大幅に早く、無事終わることが出来ました。

そしてやり切った後の、真和会旧役員の皆さんの表情。

みんな成就感に満ちた、実にいい顔をしていました。

君たちのおかげで、今年度もいい一年を送ることが出来ました。いい節目の時を迎えることが出来ました。



今週から、いよいよ名実ともに、新メンバーが吉中を引っ張って行くことになりました。

それは先輩たちも通ってきた道…。

温かい眼で、後輩たちを見守ってあげてくださいね。